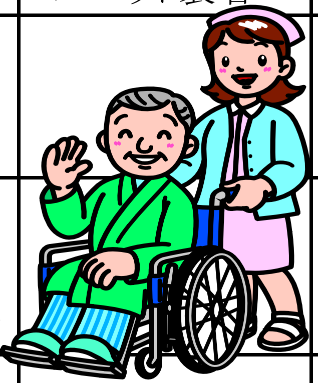
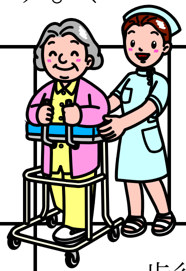
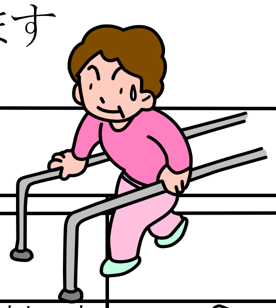
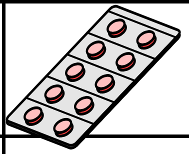
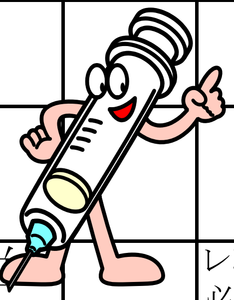
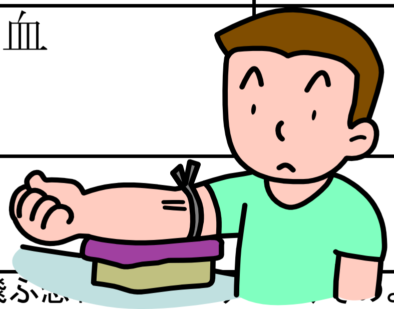
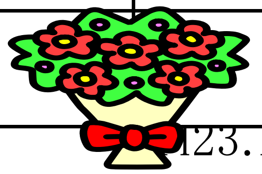
腰の手術（腰椎固定術）を受けられる　　　　　様

主治医（　　　　　　　）担当看護師（　　　　　　　）

		（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）	（／）（／）	（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）
	入院～手術前2日	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3日目	4～5日目	6日目	7～10日目	14日目	21日目	術後4週目
達成目標	手術に必要な検査が済んでいる。手術の必要性が理解できている。		・痛みのコントロールができている。。 ・術後に痛みの少ない姿勢がとれている。						・傷の経過が良好 ・姿勢による皮膚・神経の障害がない ・不都合なくコルセットが装着できる	・リハビリが進み、日常生活動作が改善傾向にある		
活動	自由 症状に応じて 車椅子又は歩行器		手術後ベット上安静 ベッドアップは20度まで。寝返りは看護師が 介助します	ベットアップは20～40度まで。寝返りは看護師が介助します	ベッドアップは45度まで自力での寝返りができます コルセット装着	ベッドアップは60～90度	ベットに腰をかけます。 車椅子へ 主治医又はリハビリ担当者と一緒に移ります		←独歩→			
食事	痛みなどがあり食べにくい場合はお手伝いしますので遠慮なくお申し出	（　）時まで食事可 （　）時まで飲水可	朝から食事は食べられません。 主治医の許可があるまで絶飲食となり	食事が開始となります。食べやすいようにお手伝いします					体重測定	体重測定		
清潔	患者様の状態に合わせて体拭きや入浴を行います	入浴/　体拭き/爪切り マニキュアはしないで下さい		体拭きのタオルをお持ちします。 寝たままで看護師がお手伝いします		痛みに応じて、ベッド上での洗髪が行えます		シャワー浴（6日目以降） 傷は保護して看護婦が手伝います。コルセットをつけたままの時もありす		シャワー浴。お一人で入浴可能か確認後一般浴となります。（コルセットを外して）		
排泄	車椅子トイレ移動訓練や尿器、便器を使って床上排泄訓練を行う場合がありま		手術前までに排尿を済ませて下さい。手術後尿管が入ります。 術後はベット上での排泄になります	可能であれば、尿管を抜きます			車椅子用トイレにて排泄（移動が安定するまで看護師が付き添います。） 歩行器での歩行が安定したらお一人でトイレに行けるようになりま					
リハビリ	車椅子駆動訓練 下肢の挙上運動 腹式呼吸　咳払いの練習 太ももの筋力訓練 足首の曲げ伸ばし運動 寝返り練習 などを必要に応じて行います			ベッド上でのリハビリ開始 足の関節・指の運動を自分で行なってください。→			リハビリ室内での平行棒を使用して歩きます→			歩行訓練 屋外歩行訓練 階段昇降訓練 日常生活動作の訓練		
処置	自己血採血(必要時)	必要時、手術部位の毛をカットします	ストッキング装着（血栓予防）→		傷の消毒を行います				抜糸			
内服・点滴	現在内服されているお薬があれば、看護師に渡して下		朝7～8時頃、術前点滴を行います	抗生剤の点滴が朝・夕にあります（手術後、3～5日→			抗生剤の点滴が飲み薬に変わりま					
検査	採血 レントゲン(腰、胸) 心電図　肺機能　MRI、CTを撮る場合もあります。 手術に必要な検査をします。		手術終了後、レントゲンを撮ります	採血					採血　レントゲン	採血		レントゲン 必要時、採血
その他	コルセットを作ります 主治医から手術説明	麻酔科医の説明があります 眠れないときは、お知らせください	アクセサリー類、化粧はしないで下さい。義歯は外して下さい							亜急性期病棟に移ります。退院が近づいたら退院後の生活指導をします		

＊痛みを我慢したり排便時に力む事で、血栓が飛ぶ……ような際には我慢せず御申し出くださ

＊ここに記載しました予定は状況に応じて変わることがあります。何か質問がありましたら、看護師にお聞きください。

…23.11.9作成